



草のよしだやかから版

2020年 初夏

VOL.30

雨に濡れしっとりと優しい花たちが、晴れた日には夏空に映え生き生きと輝いて見えます。この季節は空模様で変わる花の表情に楽しみをもらえますね。これから真夏に向けて、快適なお庭を楽しむためには、一年で一番病害虫が多く、蔓延しやすい今の時期の予防が大切です。病害虫の被害を最小限に抑えるために、お庭のパトロールをこまめに行い、早めの対処をしてくださいね。

お手入れのお話:

アジサイ



吉田 龍
ガーデニング専門学校
の講師をしています!



アジサイの剪定の基本は、花後すぐに、花から2~3節下の脇芽が出ている上で切ります。今年咲かなかった枝は来年咲く可能性があるなので切りません（ただし、細くて充実してない枝、横に張り過ぎてしまいそう枝は切ります）。アジサイの株を小さくしたい場合は、花後すぐに、株元の一番下の葉がある節の上で剪定します。

アナベルは新梢から開花するので休眠期(冬)に、地際から2~3芽残して剪定してくださいね。

害虫の話

●チャドクガ 毎年ニュースになるのでご存じの方も多いと思いますが、私達も特に気を付けている害虫の一つです。ツバキ、サザンカ等の葉を食害します。卵、成虫、脱皮殻まで細かい毒針毛があり、これ皮膚に付くと激しいかゆみ、人によっては発熱します。お庭のツバキ等は定期的にチェックしてくださいね。お散歩中の街路樹のツバキにも気を付けてください。

●オリーブアナアキゾウムシ オリーブが枯れこむ原因の一つにオリーブアナアキゾウムシの食害があります。木の中に卵を産み付け、孵化した幼虫がその内部を食害し、発見が遅いと枯れてしまいます。食害の際に、おが屑が出るのでこれをチェックします。樹木の株元に他の植物を植えないようにすると、成虫が潜む場所もなくなり、おが屑も発見しやすくなります。

